

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	婚活支援事業			事業番号	08-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	子ども部	齋藤 浩人	青少年課	桑原 豊	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	2	子どもの成長をみんなで見守るまちづくり	
		施策展開の方向	4	子どもや若者の成長と自立を支えるまちをつくる	
		施策	8	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	
予算事業名	婚活支援対策事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→		法令上の位置づけ	できる規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成30年度	～	終了年度	—
関連法令等					
国・県の計画等			計画期間		
関連個別計画			計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	結婚・出産や家庭を持つことに対する価値観が多様化する中で、未婚化、晩婚化が急速に進行しており、国の出生動向基本調査によれば、未婚者の9割近くが結婚の希望を持っている一方で、男女ともに「適当な相手にめぐり合わない人」が多い状況にあります。				
目的 (何をどうしたいのか)	地域や団体の婚活事業への支援等、男女の出会いの場や交流の場の創出を支援するとともに、結婚に対する意識啓発のための婚活セミナーを開催します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	未婚者の男女、その親				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民やNPO団体、他自治体等との連携・協力により、男女の出会いの場や交流の場の創出を支援するとともに、婚活セミナー等を開催します。また、本市の婚活支援政策総合窓口として婚活支援に関する情報の収集・発信に努めます。</li> <li>広域での連携・協力による事業実施を検討します。</li> <li>出会いの場や交流の場の創出支援として、開催にかかる費用の助成を行います。</li> </ul>				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	出会いの場や交流の場の創出支援	実施検討	新規1回実施	継続1回実施	
	婚活セミナー等の開催	新規1回実施	継続1回実施、新規2回実施	継続3回実施	
実施結果検証	検証	検証	検証		
目 標	【指標名】	年度			
	【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	婚活セミナー等の開催数	0回 (平成29年度)	1回	3回	3回



事業実施 (Do)

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	市民やNPO団体、他自治体等との連携・協力により、男女の出会いの場や交流の場の創出など支援するため、先進事例等を参考として、効果的な実施方法等の検討を進めていきます。また、引き続き婚活支援セミナーを開催いたします。				
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	● すべて直接実施                      ○ 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>		
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>		
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>		
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	出会いの場や交流の場の創出支援	実施検討	新規1回実施		
	婚活セミナー等の開催	1回実施	継続1回実施		
	実施結果検証	検証	検証		
<b>実施した取組の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢原市農業後継者対策協議会(市農業振興課)と共催し、婚活応援セミナーを開催しました。</li> <li>・本セミナーを受講していただき、交流イベントにつなげるなど、交流の場の創出を支援しました。</li> <li>・令和2年3月に「親御さん向けのセミナー」を計画していたが、コロナの関係で中止となりました。</li> </ul>				
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状値】</b>	<b>年度</b>		
	婚活セミナー等の開催数	0回 (平成29年度)	1回	2回	

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績			
	<b>事業費合計 (a)</b>			30	千円		40	千円		0	千円		0	千円
内訳	国県支出金 ①		0	千円		0	千円		0	千円		0	千円	
	地方債 ②		0	千円		0	千円		0	千円		0	千円	
	その他特財 ③		0	千円		0	千円		0	千円		0	千円	
	一般財源 (a)-①-②-③		30	千円		40	千円		0	千円		0	千円	
<b>国県支出金の内容</b>														
その他特財の内容	受益者負担		○ 有      ○ 無				前回の改定時期							
	その他													
人件費	正規職員		0.04	人	340	千円	0.04	人	348	千円	0	人	0	千円
	その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	人件費合計 (b)		0.04	人	340	千円	0.04	人	348	千円	0	人	0	千円
<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				370	千円			388	千円			0	千円	
単位当たりコスト	対象数	定義	市民				単位	市民				単位		
		対象数	102416				人	102,248				人		
	総事業費 / 対象数		4	円					4	円				

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	農業振興課、JA青年部との連携を図り、農業後継者対策協議会との共催のもと婚活応援セミナーの開催とセットにした交流の場の創出支援に取り組みました。令和2年3月に「親御さん向けのセミナー」を計画していたが、コロナの関係により中止となりました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	他市町村(厚木市、三浦市)で本事業を展開している事業内容と、概ね同水準で実施しています。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	未婚者(男性)に対して、交流イベントとセットにした「婚活応援セミナー」を開催することで、交流イベント時にセミナーの内容を活かし自分を好印象に魅せることができたなど、参加者から好評を得ています。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	B	左記判断理由	未婚化、晩婚化が急速に進行している中、未婚者の男女、その親に対して、結婚に対する意識啓発を図り、知識やノウハウ等を伝授する取り組みが必要となっています。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	市域レベルでの婚活事業による成婚の実績は低く、近隣との広域レベルで事業展開が適切であると考えられ、あらゆる分野において連携・協力して事業展開を進める必要があります。
令和2年度の取組方針		市民やNPO団体、他自治体等の連携・協力により、男女の出会いの場や交流の場の創出などを支援するため、先進事例等を参考として、効果的な実施方法等の検討を進める。また、引き続き婚活応援セミナーの開催、昨年開催できなかった「親御さん向けのセミナー」を開催いたします。		
所管部長による総評		婚活政策は、観光PR、子育て支援、広報、定住化などあらゆる分野にまたがる課題があると考えられる中、未婚者の高い割合で結婚への希望を抱いており、本事業の必要性はあるものと認められます。このため、男女の出会いの場や交流の場の創出を支援するとともに他団体等との連携・協力を図りながら、本事業を推進すべきと考えます。		